

第8期第2回 新潟市亀田地区公民館運営審議会 議事概要

日 時： 令和4年3月15日（火） 午前10時～午前11時10分

場 所： 亀田地区公民館（江南区文化会館）多目的ルーム1・2

出席者： 新潟市亀田地区公民館運営審議会 植木委員、遠藤委員、齋藤委員、
齋藤議長、坂井委員、塚野委員、
弦巻委員、（五十音順）

【欠席】阿部委員、戸田委員、横木委員

事務局	亀田地区公民館	原（主任）、田辺、山宮
	曾野木地区公民館	山上（館長）、大野
	横越地区公民館	鈴木（館長）

1 開会 亀田地区公民館主任あいさつ

2 議事（報告事項）

（1）令和3年度事業経過報告について

（事務局） 令和3年度事業の経過状況（1月末現在）について報告

（坂井委員） 亀田地区公民館の事業で2点お願いします。1点目がナンバー6番、「プレママパパ講座」で、募集人数が16人に対し、応募が46名となっています。こちらの数字は間違いないかというのと、あと、9番の「乳児期家庭教育特別編」で、参加が16名となっているが、これは全員お父さんだったのか、それともご夫婦やパートナー同士での参加だったのか教えてください。

（山宮職員） 家庭教育学級の担当をしております山宮です。よろしく申し上げます。プレママパパ講座は各季節ごとに1回ずつ年4回行って、それぞれの回の募集人数が16人です。そして延べ人数は、現在、コロナ禍で人数制限がかかっている、その時々々の状況に合わせて参加者数を江南区の健康福祉課が決めていますので、参加者数と募集人数が合わないような形になっています。

9の「ゆりかご学級特別編」は、父親だけではありません。こちらはお父さんとお母さんと一緒に参加してもらって、お父さんお母さんそれぞれ別々のプログラムでやっています。ただ、Zoomのときは同じプログラムで、ベビーマッサージを体験してもらいましたが、夏やった「ゆりかご学級第2期の特別編」は別々に体験してもらっていますので人数が合わない感じになっています。

（坂井委員） ナンバー6番のプレママパパ講座の方は、昨年度も40人近い受講者だったと思います。江南区は個人的にも施設や子育て支援サークル、お店など、子育てしやすい環境だと思います。これから新しく居を構える方も子育て世代も多いと思います。こんな感じで家庭教育学級や子育てサポートが身近にあるのはすごくありがたいなあと思っているので、今回のこの講座、参加者が結構多かったのも、傾向として子育てしやすい街であるということが証明されているのではないかなと感じました。

あと、ナンバー9番のゆりかご学級第2期・第4期特別編の方は、どうしてお父さんかと聞いたのは、以前、父親学級という事業があったんですけど、なかなか参加者が集まらず、苦戦していたようですけど、こういった形でお父さんも一緒に参加していただくのはいい機会かなというふうに感じたので、これからも続けていただきたい

と思います。

(山宮職員) 父親学級ですが、今年度に入ってから「プレママパパ講座」に参加してくれるお父さんが増えたんです。前は必ず2、3組ママだけっていうところがありましたが、今は100%お父さんとママと一緒に参加して下さってるような状況で、それで、世の中の意識も少し変わってきているのかなというのを肌で感じていまして、それでなおさら、ゆりかごも特別編も続けていこうという気持ちになっているところです。ありがとうございました。

(坂井委員) ありがとうございます。たぶん今までは結構お子さんの年齢がちょっと高めな方のお父さん向けだったと思うんですけど、こういった形でもうちょっとお子さんの対象年齢を下げると、子育ての最初の段階で皆さんも頑張ろうというところから始まっているので、いいなと思いました。ありがとうございました

(斎藤議長) ありがとうございます。他に質問ありますでしょうか？よろしいでしょうか？どうぞ。

(植木委員) 植木と申します。よろしくお願ひします。今コロナ禍なのに内容や時期など、いろいろ変更されたり工夫されたりして、これだけの事業を実施されていることに本当にありがたいなと思ひながら説明を聞かせてもらいました。

横越地区公民館さんに質問です。11番、「よこごしがつつり塾」ですが、これは子どもたちにいつもとても人気があるなと拝見していましたが、延べ参加人数が少し減っていますが、これは1月の回が中止になったのが原因だったのでしょうか。1月中止というのはコロナ禍で応募が少なかったということでしょうか。

(鈴木館長) 横越では、「よこごしがつつり塾」ということで、長期の夏休みとか冬休み、春休みに子どもたちの居場所づくりとして、活動を行っています。

やはりお話しがありましたとおりにコロナ禍ということもありまして、公民館の一番広い部屋を使ったとしても、関わる方がいろいろいらっしゃるので、まずもって募集人員が例年より少なくなっています。かつ1月を中止にしたというのは、学校の休みの関係等もありまして、こちらの日程の設定が、うまくなかった部分もあるのですが、12月の年末と1月、冬休みということで二つ計画していました。12月については、定員が少なかったということもありますが、参加の申し込みをいただいて開催することができたのですが、1月は早々に学校が始まってしまう、お休みが少ない中で計画をしたところ、申し込み人数が1名しかなかったということと、予定していた内容が夏休みの「サイエンスサーカス」で行ったひとコマと実施内容が少しかぶるところがあったというところで、申し込みが少なかった、または年末のコロナ禍の状況を踏まえて皆さん、ちょっと安心安全ということで、ご遠慮されたのか、人数がまとまらなかったもので、泣く泣く中止させていただいたというところです。令和4年度につきましては、これまでの夏休み、冬休み、春休みの実施状況を踏まえまして、より効果的な時期に開催すべく、内容を含めまして検討していきたいと思ひます。

(植木委員) ありがとうございます。

(斎藤議長) 他にありますでしょうか？どうぞ。

(坂井委員) 坂井です。横越地区公民館さんについて、質問ではないんですけどもナンバー7番、「児童期思春期家庭教育学級」なんですけど、家庭教育で江南区として唯一児童期、思春期の保護者を対象とした講座で毎年一定数の参加者がいらっしゃると思ひます。乳

幼児期とはまた違うより複雑な状況を抱えた多くの保護者が集まって、話し合える数少ない貴重な場だと思うので、できれば今後も継続していただければと思います。

ナンバー15から19の新規事業について先ほどお話いただきましたが、本当にどれも地域課題に沿った内容だと感じました。

15番の「新潟ラベンダー物語」は、毎年好評の講座だと思うんですけども、特に今のコロナ禍において癒しを求めている人が多いのかなと思うのでいい企画だと思いました。

16番、地域の防災ですね。最近は自治会の防災訓練を実施されているところをあまり聞かなくなりました。地域のつながりの希薄化傾向がみられる中で、共助について地域の方々と学ぶ場があるのはいいなと思いました。

17・19番、地域の企業や教育施設と連携して、高齢者だけでなく、年齢性別問わず一堂に会して学べるというのは公民館のいわゆる役割を果たしているのではないかと感じました。

亀田地区に戻るんですけども、先ほど中学校で講座を開いたという話があったんですけども、今回のには参加してないんですけども、以前参加させていただいたことがありまして、実際に中学校の中に入って、たまたま休み時間の時間帯で、生徒さんたちがすごく明るく声をかけてくださって、その時まだ子どもが小さくて子連れで参加させてもらったんですけども、生徒さんがすごくみんな子どもに優しくしてくれてすごくいい機会だったので、こういったこともまた続けて行ってほしいなと感じました。

(斎藤議長) ありがとうございます。いいですか。公民館さん、ここで何か。質問というかご意見というか要望でしたが。

(鈴木館長) 横越の鈴木です。ご意見どうもありがとうございます。本年度コロナ禍の中で、保育付きの事業がなかなか昨年再開されなくて、今回ちょっと定員が少なかったんですけども、行うことができました。アンケートの結果を見ていると以前に比べお母さん方一人でお家で子育てする機会が多くて、初めてお子さんを預けるというお母さんもいらっしゃいましたし、普段やはり大人と話す機会がなかなか持てないということで、結果を見ると先生の話聞くだけではなくて、グループトークができてとてもよかったというご意見をいただいたりとかこんなコロナ禍の中で講座を開催していただいて、ありがとうございますという、とても嬉しいご意見をいただいています。

新規事業につきましても、館に出入りする方のお話をいろいろ聞く機会がありまして、こんなこと困ってるんだよねって、スマホ教室のきっかけのひとつで docomo ショップさんにご協力いただいたり、やはり地域としての防災、横越地域って川が近くて特殊なところがありますので、そこは区の地域総務課の職員に具体的に横越の事例でお話ししていただいたりとか、皆さんに関心をもっていたきたいこと、気づいてほしいことをテーマとして今年度開催しております。また来年度も引き続き行いたいと思いますので、ありがとうございます。

(2) 令和4年度事業計画(案)について

(事務局) 令和4年度事業計画(案)について説明

(斎藤議長) ありがとうございます。いろいろと今年度できなかったものを頑張ってやる。2年連続で中止になったものは、来年度は必ずやりたいと、なんとかコロナ対策をしながらやっていけることは、子どもたちにとっても、ある種、自分にとっても大事なことになるだろうなと。ここは踏ん張りどころだと思います。

それでは、ただいま公民館から説明がありましたが、ご質問等ございましたらよろしくお願ひいたします。

なければ私の方から。父親の参加を受けて Zoom が使われて、割とうまくいった。もちろん、直接的に会うのが一番だろうと思います。本日も校長先生がいらっしやっていますが、学校も登校して一緒に勉強をするのが何よりですけれども、次善の策として Zoom を使うというのも、結構、学生は楽って言うんですね。学校に来なくていいから。家にいればいいので。ですので Zoom を使うと、お父さんも公民館の講座に参加しやすくなるのかもしれないですね。直接に会わないと体温とかそういうのはわからないんですけど、画面で見ると隣にいたということはわかるし、何とか頑張って Zoom などを使いながら、工夫をしながら進めていただければいいと思います。

令和4年度事業はまた今年度を踏まえて、より良くなっていくことを期待しています。

質問等はないようですから、事業計画を原案どおり承認するという事でよろしいでしょうか。それでは拍手をもって承認をお願いします。

(拍手)

(斎藤議長) ありがとうございます。では承認と認めたいと思います。

【配布資料】

- ・資料1-1～3 令和3年度事業経過報告（亀田・曾野木・横越）
- ・資料2-1～3 令和4年度事業計画（案）（亀田・曾野木・横越）